

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。できるだけ詳しく書いてください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	フィリピン大学 デリマン校	氏名	
国名	フィリピン	学籍番号	
留学期間	2021年 9月 ~ 2022年 6月	記入年月日	2021年 6月 15日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: 経済学			
科目名	Econ 11: Markets and the State	科目名	JS 100: Japan Studies 100
授業内容	経済学の基礎を学ぶ。経済学部は必須授業。週2回の教授によるレクチャー(各1時間)と週1回の大学院生アシスタントによる演習クラス(各1時間)。評価は計4回のテストに基づく。	授業内容	日本の伝統文化や現代社会についてレクチャーとディスカッションを通して学ぶ。今年度はコロナ禍における日本の対応、歌舞伎・能・生花、東京オリンピック、かわいい文化などがテーマ。
授業形式	Zoom	授業形式	Zoom
単位数	3	単位数	3
サイズ	大(250人程度)	サイズ	小(15人程度)
難易度 Course No.	経済学の最も基礎だが範囲が広くやや難しい	難易度 Course No.	易
宿題の量	多	宿題の量	普通
コメント	教授の教え方は上手く、分かりやすい。込み入った内容も的確な説明で理解しやすい。ただ計4回あるテストの範囲は広く、毎回テスト勉強に苦労した。アシスタントの演習クラスは、問題を事前に解いておいて、クラスの中で発表しながら答え合わせをする形式。アシスタントは親切に教えてくれる。教授言語はレクチャーも演習も90%くらいは英語。	コメント	担当教授は二人で、前半と後半で分かれていた。1回の授業は1時間半で、週2回。基本的にはレクチャーから始まり、その後ディスカッションをする。日本のさまざまな文化やタイムリーな出来事について、フィリピン人学生がどう思っているのかを知れる。また、頻りに外部の講師が来て話をしてくれる。評価はレポートや発表、出席などを総合して決まる。教授言語はほぼ英語。
科目名	Fil 3: Conversational Filipino for Foreigners	科目名	PE 2: Philippine Games
授業内容	留学生のためのフィリピン語の授業。挨拶から始まり、簡単な会話をできるようにすることが目的。事前の自己学習と週1レクチャーの組み合わせ。	授業内容	フィリピンの遊びを通して、伝統や文化について学ぶ授業。オンラインだったので、同期型の授業では身体をあまり動かさないボードゲームが中心。
授業形式	事前学習+Zoom	授業形式	Zoom+非同期型(課題)
単位数	3	単位数	2
サイズ	小	サイズ	中(30人程度)
難易度 Course No.	易	難易度 Course No.	易
宿題の量	多	宿題の量	多(大変)
コメント	授業ではまず、文法や発音などについてのレクチャーがあり、その後クラスのみんなで練習するという流れ。ロールプレイングをすることが多く、留学生同士で交流を深められるのが利点。宿題は毎週の事前学習のほかに、ビデオ作成などがあつた。評価はそれらの課題と出席、筆記と口頭テストによる。教授言語は英語。	コメント	伝統的な遊びから、日常で役に立つエクササイズまで、レクチャーと先生のテキストを使って学ぶ。オンラインだったので、レクチャーではボードゲームや座ってできる遊びをクラス全体で行った。レクチャーの回数自体は少なく、課題が中心。自分のエクササイズ動画を撮って編集したり、伝統的な遊びについて調べて発表するなど。先生に頼んで英語で授業を進めてもらった。

科目名	Socio 10: On Being Filipino: A Sociological Exploration	科目名	CD 100: Philippine Society and Community Development
授業内容	フィリピン社会における国民性、アイデンティティ、市民性という根強い問題を社会的に考察する。週2回の授業(各1時間半)。	授業内容	フィリピンの歴史、社会経済、政治状況、開発業務に関連する問題をマクロ的に分析する授業。週1回の授業(各3時間)。
授業形式	Zoom	授業形式	Zoom
単位数	3	単位数	3
サイズ	小	サイズ	小
難易度 Course No.	やや難	難易度 Course No.	やや難
宿題の量	少	宿題の量	多
コメント	グループに分かれてテキストの指定された箇所を読んでプレゼンテーションを作り、それを授業中に発表する。発表後はディカッションとレクチャーが少し。フィリピンの地名や歴史上の人物など、知らない単語がよく出てくるため、追いつくのは困難。理解度は低いが理解できた部分だけでも得たものは大きい。言語はフィリピン語と英語半々。	コメント	授業中はレクチャーが少しとディスカッション。教授は英語を話してくれたが、クラスメイトはフィリピン語で話すことがほとんどだった。CDコースはディスカッションを中心に理解を深めていくため、フィリピン語ばかりになってしまうと話についていくのは困難。ただ非同期型の課題は英語で進めることができたのでよかった。内容自体は面白い。
科目名	Econ 191: Development Economics	科目名	
授業内容	開発問題や政策を分析・理解するための経済的手段を学び、フィリピンの経済開発の課題を知ることが目的。週2回のレクチャー(各1時間半)。	授業内容	
授業形式	Zoom	授業形式	
単位数	3	単位数	
サイズ	中	サイズ	
難易度 Course No.	難	難易度 Course No.	
宿題の量	普通	宿題の量	
コメント	開発経済学のテキストに沿ってレクチャーが進められる。約900ページのテキストの多くの章を網羅するため、ペースはとても速い。それに加えて、グループワークや個人プレゼンの課題がいきなり課されることがあり、いつ呼ばれるかわからないので常に準備しておく必要があった。経済の応用クラスなので、クラス全体のレベルはかなり高い。	コメント	
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>一番困ったことは、授業中にフィリピン語で話が進んでいくことでした。基本的には英語が教授言語の授業を選んだつもりですが、事前に先生にお願いしていても、話が盛り上がっていくにつれてフィリピン語になっていくのは私自身もどかしさと疎外感を感じました。解決策としては、授業を録音させてもらい、後で復習すること、事前にスライド等をもって予習することです。先生とクラスメイトに英語で話してほしいことをその場で伝えるという手もあると思いますが、実際のところ、話が盛り上がっているのにいちいち話を遮って伝えるというのは難しいかなと思います。言語については、フィリピンのアイデンティティや歴史文化的な側面が深く関係しているため、我々が英語を話すよう強くお願いすることはそもそも間違っているような気がします。やはりフィリピン大学を志望する場合、言語の壁はある程度覚悟しておくとうよいと思います。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所</p> <p>設備についての簡単な説明</p> <p>部屋について _____ 人部屋 広さ _____ 畳くらい</p> <p>ルームメートについて</p> <p>寝具や生活用品の入手方法</p> <p>生活の感想</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p>

6	医療保険についてお書きください																																																
	渡航前に加入した保険																																																
	留学先大学にあった医療保険制度																																																
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)																																																
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)																																																
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(現地通貨)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">渡航旅費</td> <td style="border-bottom: 1px solid black; width: 150px;"></td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">帰国旅費</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">引越し(往復で)</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">保険</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">語学研修費</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">留学先学費</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">本学学費</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">200,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">教材費</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">50,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">住居費</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">150,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">食費</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">100,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">その他(水道光熱費)</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">100,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"> (通信費用)</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">50,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"> ()</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">合計</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">650,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 5px;">換算率 (<input style="width: 50px;" type="text"/> = <input style="width: 100px;" type="text"/> 円)</td> <td></td> </tr> </table>		(現地通貨)		渡航旅費		円	帰国旅費		円	引越し(往復で)		円	保険		円	語学研修費		円	留学先学費		円	本学学費		200,000 円	教材費		50,000 円	住居費		150,000 円	食費		100,000 円	その他(水道光熱費)		100,000 円	(通信費用)		50,000 円	()		円	合計		650,000 円		換算率 (<input style="width: 50px;" type="text"/> = <input style="width: 100px;" type="text"/> 円)	
	(現地通貨)																																																
渡航旅費		円																																															
帰国旅費		円																																															
引越し(往復で)		円																																															
保険		円																																															
語学研修費		円																																															
留学先学費		円																																															
本学学費		200,000 円																																															
教材費		50,000 円																																															
住居費		150,000 円																																															
食費		100,000 円																																															
その他(水道光熱費)		100,000 円																																															
(通信費用)		50,000 円																																															
()		円																																															
合計		650,000 円																																															
	換算率 (<input style="width: 50px;" type="text"/> = <input style="width: 100px;" type="text"/> 円)																																																
	受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください																																																
	卒業生の寄付による派遣留学奨学金																																																
8	留学前の準備について教えてください																																																
	日本から持参すべきもの																																																
	留学前にしておけばよかったこと																																																
	<p>語学力はできる限り上げておくに越したことはないと思います。英語はもちろんですが、フィリピン語の知識もある程度持っていた方がよかったです。ただ、フィリピン語を留学前に完璧にしておくのは難しいので、フィリピン語で話された部分で何かわからないことがあった時に即座に対応できるほどのスムーズな英語力がまず必要だったかと思います。また、経済学の授業では、日本の話題が出てきて専門的な意見を求められることが多かったので、日本の政治経済についても理解を深めておくに越したことはないと思います。</p>																																																

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>まず学習面では、履修登録やその他手続きに関して、適応しにくさがありました。特にオンラインという環境上、自分から相談しなければ誰も気づいてくれませんし、物事が進みません。津田塾大学は好きな科目が取れない、なんてことは抽選科目でもない限りほとんどありませんが、UPではそういったことがしばしばあるようでした。UPのシステムは複雑で、かつ様々な部署があるので、クラス登録一つも大変でした。ただ授業に関しては、特にそのようなことはなくすぐに適応できました。</p> <p>生活面では、日本にいたので適応できなかつたということはありませんが、ずっとパソコンに向かう生活は精神的にも身体的にも辛いものがありました。ただ少しすると慣れていき、そういったデジタル機器との距離感を掴めるようになっていきました。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>学習面の成果は様々ありますが、大雑把に言えば、フィリピンという国をみるための多角的視点を得られたことだと思います。留学以前は、フィリピンについて、日本や世界からの非常に一般的な見方しか持っていませんでした。しかし留学を通して、フィリピン大学の学生に混ざり、授業を受け、意見を交わす中で、フィリピン人の視点に触れることができました。これは日本からフィリピンを語るだけでは決して得られないものです。言語、歴史、経済、政治…フィリピンの学生がどのようなことを考え、これからどうしようと思っているのか。非常に重要な気づきを得たと思います。</p> <p>精神面で変わったことは、焦らず楽しくやっという、という自分のペースを見つけたことです。完全オンラインだと、生活のリズムを整えるのが大変ですし、勉強も際限がありません。やろうと思えばずっとやれてしまいます。でもそれでは長く持たないので、自分のペースで、そして楽しく思える程度に頑張っていけばいいと思うようになりました。いつもその気持ちでいられるわけではないですが、そう努力するようになりました。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>帰学し、フィリピンと開発経済学をテーマに卒業研究に取り組みます。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>私はずっと楽しみにしていた留学を、Covid-19パンデミックの影響で一度延期し、延期後もオンラインというあまり前例のない形で挑戦することになりました。でも、「Intelligence means what you do when everything that you know become useless」だそうです。知性とは、自分が知っていること、自分が想定していたこと、すべて役に立たなくなったときに、どうするかということです。留学は、留学前も最中も予期せぬ事態の連続で、だから面白いのだと思います。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>これまで様々な形で支えてくださった皆様に感謝します。</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(許可する(写真含む) 写真掲載のみ不可 許可しない)

※写真の掲載を許可する場合は、写真に写っている全員の許可をとってください。

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコンで入力してください。

※ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。